

ドリームスエフエム放送(株) 第 129回番組審議会議事録

1 開催日時

令和6年10月29日(火)

2 開催場所

今回の放送番組審議会は、各委員が聴取りレポートを提出し、関係各位が閲覧、感想や要望を共有する形とした。

3 出席委員

審議委員:田中 優子、早田 耕一郎、入江 剛史、酒井 香、宮本 琴美

放送事業者側:秋穂 真由美 内藤 圭祐

4 議題

番組名:「未来を明るく! 今日から始めるマネーのハナシ」(録音)

放送日:下記のとおり

令和6年4月3日「運用の必要性」

令和6年6月5日「ライフプランと資産形成」

令和6年8月21日「暴落時に備えて」

令和6年9月25日「放送半年を迎えて おさらい」

パーソナリティ:中嶋 順子

5 番組内容

福岡県久留米市の保険代理店 株式会社アスカジャパンとメットライフ生命保険株式会社西九州支社と弊社が合同で令和6年6月と9月に開催したマネーセミナーの連動番組です。投資運用の初心者を中心に、時代の流れに合った投資の必要性や始めるまでの準備に重点を置き、投資運用の必要性やメリット・デメリットを細解いていきました。また投資・金融の専門番組としては弊社で初めての制作となりました。全26回、10分間。

6 審議内容

番組を視聴いただき、下記のような感想・意見を述べていただきました。

(委員意見)

①金融は専門用語も多く、手元にテキストがあることを前提としないラジオ放送では、なかなかうまく伝わらないのではないかと危惧していましたが、話すテンポもゆったりとしており、できる限り専門用語を使わない姿勢がうかがえ、リスナーフレンドリーでかつ有意義な放送だったと感じる。

②金融商品は、商品ごとに特性があり、細かい部分に入ると事実誤認を招く恐れもあると思われるが、深入りすることなく、表面だけでもない、バランスのいい触れ方だった。

- ③ドリームスエフエムとして初めての投資・金融の専門番組ということだが、分かりやすい内容になっていた。パーソナリティの方が質問を投げかけ、ファイナンシャルプランナーが答えるという掛け合いの形をとって、ともに平易な表現や比喩も使うことで、初心者でも入り込みやすい内容になっていると感じた
- ④「ライフプランと資産形成」の放送回では適切なポートフォリオを組むことの重要性が開設されていたが、過度にリスクを取った運用が問題になっているため、それに対する注意喚起をする内容でもよかったのではないか。
- ⑤資産形成と資産運用の違いについて説明があったが、覚えているほうが良いのか、敢えて説明する必要があるのかという疑問がある。予想外の出費の話から、具体的な話を例にしたところからの話でよいのではないか。
- ⑥「暴落時に備えて」の回で暴落についての対応は穏当な見解だと思われる。長期停滞のリスクの説明も併せて必要だったように思う。
- ⑦今年 8 月の日経平均株価が暴落したというニュースで NISA や iDeCo を始めるとリスクがつきものなのかと少し不安を感じたが、ピンチのように見えて株価のバーゲンセールという話に興味があった。リアルタイムで番組を聞いていたらセミナーに参加したくなる内容だった。
- ⑧「これまでのおさらい」最終回は、これまでの放送回数が 25 回だった分、おさらいをする回としては時間が足りず、資産運用に対する心構え的な内容にとどまってしまった点が残念だ。放送回数に応じて、おさらい回を増やせばリスナーにもより分かりやすかったのではないか。
- ⑨豊かさの中で「お金」「時間」「健康」「一緒に楽しめる家族・友人」を聞いたときに将来を見つめなおすきっかけにもなるワードになった。他にもためになりそうなテーマがあり学校では教えてくれない話ばかりで、また取り上げてほしい内容だった。
- ⑩マネーセミナーと連動した、資産形成や資産運営についての番組で、審議対象となった全 4 回の放送はすべて、わかりやすい番組だった。金融商品や資産形成はといった難しい内容ではあるが、各回大事なポイントに的を絞った構成になっていたのも、理解しやすかった。パーソナリティの質問やコメントが、リスナーに寄り添ったものになっており、聞きやすかった。
- ⑪「運用の必要性」「ライフプランと資産形成」の回では、それぞれ、「運用」という言葉は何か、及び「資産形成」と「資産運用」の違いは何か、について、具体的な例も交えながら説明されていたので、わかりやすかった。特に、投資のメリットだけでなく、デメリットもあるのだということをも明言したうえで、その対策として分散させるということをするのがよいという情報

を伝えているところからも、公平な姿勢がうかがえた。

⑫ラジオ番組で、資産運用に興味がない方に興味を持ってもらえるような要素が必要と思われるが、「資産運用とはお金に働いてもらうこと」というキャッチフレーズで、興味がない人にも興味がわく内容だったのではないか。

⑬資産運用の説明はバランスの取り方が難しく、メリットとデメリットの双方を明確に示す必要があると思われる。6月5日の放送では「NISAは老後が目的と予想され、現役世代などが病気になったときに生活費や治療費にするのは難しい。アクシデントに強い保険も取り入れてみては」「iDeCoは老後までおろせない。災害起きたときに使えない」といった発言があり、いろんな金融商品に資産を分けておく重要性を説明する趣旨ではあったが、NISA、iDeCoのマイナス面が強調された印象もあった。株式、保険、預金など、金融商品のメリットとデメリットを丁寧に説明することによって、誤解が生じにくくなるのではないか。

⑭番組の冒頭で、保険代理店のファイナンシャルプランナーが説明していることを明示しているとはいえ、一人の専門家の見方をもって、投資や資産運用を語るのは、難しい面もあるのではないかと思われる。証券会社や銀行など立場が違えば、捉え方も異なってくるのでスポンサーと提携番組という前提はあるが、幅広い複数の視点をリスナーに提供する仕掛けも必要ではと感じた。

⑮具体的に iDeCo や NISA の違い、保険の種類なども聞きたいと思えた。そこにつなげた方が、アスカジャパンに対して「もっと聞きたい」というお客が増えるのではないか。

⑯丁寧に話すことに重点をおいており、聞き手が繰り返すといったところは、高齢者向けによいかと思います。半面、テンポがよくないとも思います。ラジオならではのノリが少なく、説明っぽくなってしまっています。メリハリをつけて、テンポよくするところもあってよいのではないか。教訓のような話が面白かったと思われる。

⑰男女平等の視点で発言や内容も聞いていたが、特に気になる点はなかった。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表
自社ホームページへ掲載

8 次回の審議委員会は、令和7年2月下旬に行う予定